研究の構想

学校教育目標
自ら学び、考え、行動する、いのち輝く子どもの育成
～地域とともに～

研究主題
未来の健康のために，自ら考え，行動する子どもの育成
～歯・口の健康についての学びを通して～

目指す子ども像
- 歯・口の健康についての知識・技能を身に付けた子ども
- 自らの課題に気付き，行動目標を設定することができる子ども
- 未来の健康のために，主体的・継続的に実践する子ども

自己肯定感
自己有用感

問題解決能力
・メタ認知力
・目標設定力

知識・技能の習得

仮説１
基礎的・基本的な知識・技能を活用し、主体的に課題解決を目指す学習過程を工夫することで、自らの課題を明確にし、個に応じた行動目標を立てることができるであろう。

仮説２
日常活動や委員会活動を中心とした特別活動を充実させることで、自己肯定感や自己有用感を高め、継続的に実践していこうとする態度が育つであろう。

仮説３
学校と家庭・地域、専門機関等と連携し、地域人材を活用したり、児童が学んだことや取組を発信したりすることで、健康の保持増進への意識が高まるであろう。

研究の視点１
①専門性を生かした指導による知識・技能の習得
②自らの課題を明らかにする力（メタ認知力）の育成
③根拠や理由を明確にした表現力の育成

研究の視点２
①歯みがきタイムなどの日常活動の充実
②総合的な学習の時間とリンクした委員会活動の充実
③異学年との交流の機会を設定

研究の視点３
①学校と家庭・地域、専門機関等との連携や協働
②地域人材の発掘と活用

授業づくり部
・活用できる知識・技能の精選
・効果的な対話活動を中心とした学習過程の工夫
・養護教諭などとの効果的なＴＴ
・職員研修

日常指導部
・日常活動の展開と実施
・質の高い情報発信を目指す委員会活動の構築
・異学年をつなぐ活動の実施

地域連携部
・実態調査方法の工夫と分析
・地域学校協働活動と学校運営協議会との融合

学級経営

児童の実態　　**保護者・地域の願い**